

小児がん診療施設 情報公開

医療機関名	新潟県立がんセンター新潟病院		
住 所	新潟県新潟市中央区川岸町2丁目15番地3		
施設ホームページ	http://www.niigata-cc.jp/index.html		
<<患者相談窓口>>			
名 称	患者サポートセンター		
電 話	025-266-5161(直通)		
F A X	025-266-5162(直通)		
メールアドレス			
対応可能時間	平日8:30~17:00、日曜、祝祭日、年末年始(12月29日~1月3日)はお休み		
<<医療機関相談窓口>>			
名 称	患者サポートセンター		
電 話	025-234-0011(直通)		
F A X	025-234-0022(直通)		
メールアドレス			
対応可能時間	平日8:30~17:00、日曜、祝祭日、年末年始(12月29日~1月3日)はお休み		

施設の特徴(アピール)

主に小児の造血器腫瘍、固形腫瘍、難治性血液疾患の診断と内科的治療を行っています。日本小児がん研究グループ(JCGG)に参加して正確な診断に基づく有効で安全な治療を目指しています。難治性の疾患に対しては骨髄移植など造血幹細胞移植も実施しています。近年小児がんの治療成績は非常に改善しており約7割から8割が治るようになりました。しかし現在も5-15歳の病気による死亡原因の一位は悪性新生物(小児がん)です。当科は1960年代からこどもたちの命を守るために小児がんの治療に取り組んで来ました。その姿勢は今後も変わりません。国のがん対策推進基本計画において思春期・若年成人(AYA, adolescent and young adult)世代のがんの診療体制の充実が求められています。AYA世代は15歳から39歳までとされています。このうち小児と同様な治療が有効であることが知られている思春期世代のがん診療にも当科は取り組んでいます。そこで2022年春から診療科名を「小児思春期・血液腫瘍科」と改めることに致しました。また多くの小児がん経験者が成人する時代となりがんそのものや治療による「晩期合併症」への対応が重視されています。当院でも長らく晩期合併症に対する長期フォローアップに取り組んできましたが、2022年春からあらためて「長期フォローアップ外来」を開始することに致しました。

診療受け入れ容量

小児がん病床(対応可能数)	東7病棟 小児入院医療管理料4 20床
集中治療床(うちPICU、HCU)	あり
外来化学療法(◎実績あり、○可能)	◎
休日・夜間救急対応(◎院外患者対応可能(条件記載)、○院内患者のみ対応可能)	◎ 当院受診者
フォローアップ外来(◎フォローアップ専門外来、○そのほかの外来)(外来日)	○ 月曜、木曜日
小児がんセカンドオピニオン対応可能診療科	小児科

診療実績(初発・再発別) (再発例は再発で紹介された症例のみ)	2021			2020			2019		
	初発	再発	合計	初発	再発	合計	初発	再発	合計
造血器腫瘍	7~9	0	7~9	12	0	12	7~9	0	7~9
急性リンパ性白血病	4~6	0	4~6	7~9	0	7~9	7~9	0	7~9
急性骨髄性白血病	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3	0	0	0
まれな白血病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
MDS/MPDのうちCML	0	0	0	0	0	0	0	0	0
MDS/MPDのうちCMLを除く	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非ホジキンリンパ腫	0	0	0	1~3	0	1~3	0	0	0
ホジキンリンパ腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のリンパ増殖性疾患	0	0	0	0	0	0	1~3	0	1~3
組織球症(HLH)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
組織球症(LCH)	0	0	0	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3
その他の組織球症	0	0	0	1~3	0	1~3	0	0	0
その他の造血器腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Down症TAM登録	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固形腫瘍	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3	4~6	0	4~6
神経芽腫瘍群	0	0	0	0	0	0	0	0	0
網膜芽腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎腫瘍	0	0	0	0	0	0	1~3	0	1~3
肝腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨腫瘍	1~3	0	1~3	0	0	0	1~3	0	1~3
軟部腫瘍	0	0	0	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3
胚細胞腫瘍(脳・脊髄病変以外)	0	0	0	1~3	0	1~3	0	0	0
脳脊髄腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の固形腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の固形腫瘍(具体名)									

※再発症例は、対象年において他施設から紹介された再発がんの症例です(自施設での再発症例は含みません)。

診療実績(入院数)	2021	2020	2019	2018	2017	2016
小児がん入院患者延べ数	69	93	113	104	134	113
小児がん入院患者在院延べ日数	2,688	3,332	5,319	4,089	4,292	3,864
全入院患者延べ数(施設全体)	9,373	9,339	9,942	9,918	10,787	10,795
全入院患者入院在院延べ日数(施設全体)	109,381	107,096	120,912	120,091	125,613	125,928

●小児がん診療施設の情報公開では、入院患者延べ数=患者入院延べ回数として集計を行っております。(がん患者さんが3回入院されれば3人となります)

診療実績(造血幹細胞移植)	2021	2020	2019	2018	2017	2016
同種造血細胞移植	1	2	6	3	3	4
同胞間造血細胞移植	0	0	2	0	0	1
家族間ハプロ造血細胞移植※	0	1	1	1	0	2
非血縁造血細胞移植	0	1	2	2	0	1
臍帯血移植	1	0	1	0	3	0
自家造血細胞移植	0	0	0	1	3	0
合計	1	2	6	4	6	4

※HLA完全一致または一座不一致の親子間移植も含みます

死亡患者数	2021	2020	2019	2018	2017	2016
血液腫瘍	0	2	1	1	0	3
固形腫瘍	0	2	1	1	0	0
脳・脊髄腫瘍	0	0	0	0	0	0
合計	0	4	2	2	0	3

集学的治療実施体制(10例/年以上:◎、可能:○)	化学療法	手術	放射線
固形腫瘍(下記以外)	○		○
脳腫瘍	○		○
眼・眼窩腫瘍	○		○
骨・軟部腫瘍	○		○

療養環境・支援	
面会時間	月～金 15時～20時、土日祝 11時から20時(小児科の面会はご遠慮願います。)
面会可能者	両親
集中治療室面会時間	
面会可能者	
付き添い(○不要、◎希望で24時間可能、□24時間必要、△夜間必要、▽その他(具体的に記載))	◎ 乳児～小学生付き添いが24時間必要。中高生は希望により可能
入院可能年齢	0歳～20歳まで、なお、引き続き治療が必要な患者については20歳以降も小児科にて対応。

相談窓口	○
患者家族宿泊施設(◎敷地内、○近隣)	○
代表的施設名	にいがたファミリーハウスやすらぎ、ドナルド・マクドナルド・ハウス新潟
患者同胞短時間預かり施設(◎院内、○近隣)	
患者家族休憩室(◎予約不要、○予約要)	◎
院内患者家族会(名称、連絡先)	がんの子どもを守る会 新潟支部

院内学級(◎:分教室、○:訪問教育)	◎
通院患者の通学(○可能)	○
ベッドサイドでの授業(○可能)	○
高校生への教育支援体制(◎:分教室、○:訪問教育)	
通院患者の通学(○可能)	
ベッドサイドでの授業(○可能)	
就学前児童保育	

診療機能	
病理組織診断	○
放射線治療	○
臓器移植(対象臓器)	
非血縁同種骨髄移植認定施設	○
非血縁同種末梢血幹細胞移植認定施設	○
臍帯血移植認定施設	○
輸血・細胞療法センター	○
集中治療部(◎小児専門もあり、○あり)	
長期フォローアップ(院外患者対応可:◎(条件記載)、院内患者のみ:○)	◎
移行医療(院外患者対応可:◎(条件記載)、院内患者のみ:○)	○
緩和ケア(院外患者対応可:◎(条件記載)、院内患者のみ:○)	○
思春期・青年期がん診療(高校生以上)(◎実績あり、○可能)(対応可能年齢)(特色)	◎ 20歳 就労支援。小児病室、成人病室希望により対応。

専門資格保持者(小児がん診療に実際に携わる人員)			
日本小児血液・がん学会 専門医	○	日本看護協会 緩和ケア認定看護師	○
日本小児血液・がん学会 指導医	○	日本看護協会 がん性疼痛看護認定看護師	○
日本小児血液・がん学会 暫定指導医		日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師	○
日本小児血液・がん学会 認定外科医		日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師	
日本小児外科学会 専門医		日本小児がん看護学会 小児がん看護師	
日本小児外科学会 指導医		日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師	○
日本小児科学会小児科 専門医	○	日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師	○
日本小児神経学会 小児神経専門医		日本医療薬学会 がん専門薬剤師	○
日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医	○	日本臨床細胞学会 細胞検査士	○
日本病理学会 病理専門医	○	日本医学放射線学会 医学物理士	○
日本血液学会 専門医	○	日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師	○
日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医	○	日本臨床心理士資格認定協会 臨床心理士	○
がん治療認定医機構 がん治療認定医	○	日本病態栄養学会/日本栄養士会 がん病態栄養専門管理栄養士	○
日本放射線腫瘍学会/日本医学放射線学会 放射線治療専門医	○	日本人類遺伝学会/日本遺伝カウンセリング学会 認定遺伝カウンセラー	
日本医学放射線学会 放射線診断専門医	○	日本遺伝性腫瘍学会 家族性腫瘍カウンセラー	
日本緩和医療学会 緩和医療専門医	○	チャイルドライフスペシャリスト	
日本緩和医療学会 緩和医療認定医		ホスピタルプレイスペシャリスト	
日本看護協会 がん看護専門看護師	○	子ども療養支援士	
日本看護協会 小児看護専門看護師		保育士	
日本看護協会 地域看護専門看護師		ソーシャルワーカー	○
日本看護協会 がん化学療法看護認定看護師	○		

臨床研究(小児がん診療に関する試験数)	
臨床研究支援センター	○
参加臨床試験数(治験を除く)	26
治験実施(有○)	
治験実施内容	